

平成 28 年度 12 月

一般社団法人大阪臨床整形外科医会理事会 資料本体

日時： 平成 28 年 12 月 3 日（土） 15：00～18：00

場所： ハービス PLAZA 5 階（8,9,10）会議室

大阪市北区梅田 2-5-25 TEL06-6343-7350

出席者：会 長：前中孝文

副会長：増田博 長谷川利雄 藤本啓治 小林正之 白木隆士

理 事：上野憲司 右近良治 大島正義 太田信彦 大成浩征

荻野晃 貴島浩二 岸本成人 木下裕介 日下昌浩

栗本一孝 古瀬洋一 清水広太 神藤佳孝 田上実男

調子和則 中川浩彰 中野晋吾 永田行男 西澤徹

堀口泰輔 宮内晃 宮崎浩 宮島茂夫 宮田重樹

森本清一 矢倉久義 山口康二 山口真一 山本哲 梁裕昭

吉村弘治 和田孝彦

監 事：黒田晃司 松矢浩司 特別出席者：天野敬一 早石雅宥 前野岳敏

（敬称略 合計 44 名）

欠席者：理 事：石井正治 茂松茂人 森下忍 西川正治

特別出席者 長田明 坂本徳成 堀木篤 三橋二良 （敬称略）

★前中会長から前回理事会で協議事項を討論する時間が少なかったため、今回から協議事項を先にすすめることを説明される。

[協議事項]

1、研修会予定

増田副会長

292 回研修会（1 月 14 日）から 295 回研修会（4 月 15 日）までの研修会詳細が承認された。
又 296 回（5 月 13 日）から 302 回（11 月 25 日）までの日程が承認された。

2、整医協加入率について

長谷川副会長

<現状>近畿 2 府 4 県の加入率があまりに低い。

JCOA における近畿ブロックの発言力の低下（JCOA としては加入率 60% が目標）

<対策>各府県で現状を会員に伝えていただく（現状認識・評価）

一括納付をすると加入率が上がる（対策の 1 つ）

3、OCOA 会員・スタッフ・家族に対する、大阪市立阿倍野防災センターに於ける防災体験学習に関して

神藤理事

日時を決めて研修会などでアナウンスしていくことで承認された。

4、2017 年骨と関節の日イベント

梁 理事

日程、場所、講演内容について審議され承認された。

予算については、まずは梁理事が製薬会社と交渉して共催なければ OCOA で負担することで承認された。

5、レジメ委員会からの連絡

木下理事

★昨年の資料をもとに作成している。第 2 号議案、事業計画、府医プロジェクト（委員の変更も確認）など新規、変更などあれば 2 月中旬までに木下理事に報告する。

6、クラブ活動補助金について

上野理事

OCOA 福利厚生としてクラブ活動しているゴルフ部、テニス部の 29 年度からの活動補助金（各クラブ年間 40 万）について、そのあり方、金額の妥当性について協議され今後も各クラブ毎、年間 20 万まで予算化される事に関して承認された。

7、40 周年記念事業について

白木副会長 宮田理事

40 周年記念講演及び祝宴事業

祝賀会 H29.10.21 リッツカールトン

当日の研修会は第 301 回になる。1 題はメーカー（テイジン協催）主導

300 回の記念研修会（2018 年 9 月予定）は通常通り開催し懇親会で簡単なお祝いをする。

<記念講演演者候補>

1、関野 吉晴（せきの よしはる、1949 年 1 月 20 日） 探検家・人類学者・外科医。

2、山極寿一（やまぎわ じゅいち、1952 年 2 月 21 日 -） 人類学者。

会費(案)

A：会員 3 万円、同伴 2 万円 B：同伴共に 2 万円 C：会員 2 万円、同伴 1 万円

★最終的に演者は 4 月にならないと決まらない。準備委員会から会費 C 案が提案された。

40 周年記念誌（案）

1. コスト 300-500 万円

2. ページ数、100-150 ページ

3. 原稿

8、出務費について

白木副会長

一般社団法人大阪臨床整形外科医会費用弁償規則に則り、一般会計から支出するもの、学術会計から支出するもの、骨と関節の日関係、大阪マラソン、セラピスト資格継続研修会等の出務について協議され承認された。また、第2条に（ただし別からの出務費がある場合は除く）が追加され、第2条 本法人の会員が職務のため出務をしたときは、費用弁償として別に定める内規により、出務費及び交通費実費等を支給する。（ただし別からの出務費がある場合は除く）に変更する事を承認された。

9、その他

前中会長

宮田理事から来年の適正化勉強会開催について協議提示され、H29年7月22日に開催されることで承認された。

[報告事項]

1、会員動態（前回の理事会以降）

白木副会長

会員動態（平成28年9月1日～平成28年11月30日）

平成28年11月末現在

一般会員	473名
顧問	9名
名誉会員	13名

計 495名

平成28年9月1日以降の新会員

・榎本 誠 えのもと まこと	医療法人 榎本整形外科	医局 市大
・岩名 大樹 いわな だいき	いわな整形外科	医局 阪大
・岸本 英樹 きしもと ひでき	(医) 榎本病院	医局 近大
・妻鹿 良平 めが りょうへい	(医) 妻鹿整形外科	医局 市大
・中原 治彦 なかはら はるひこ	(医) 内藤外科整形外科医院	医局 阪大
・野中 藤吾 のなか とうご	(医) 野中会 東成病院	医局 近大

平成28年9月1日以降の退会者 無し

★入会時に整医協の入会を勧める。入会者には会報への入会の挨拶文を投稿していただくことが確認された。

2、第4回一般社団法人JCOA理事会

長谷川副会長

日時：平成28年10月16日（日） 場所：ロイヤルパークホテル東京

【審議事項】

1. 平成28年度入会承認及び退会状況について（三宅）
2. 平成29年度定時社員総会の開催日（田辺）
平成29年5月28日（日）に決定
3. 湿布薬の処方枚数制限に関する患者向け情報提供ポスターの本会名称使用（田辺）
上記を啓発のためのポスター：大正富山製薬（株）が製作・配布、全医療機関が対象、
4. 診療報酬改定の整形外科有床診療所入院報酬への影響調査の実施（松原）
5. 平成28年度JCOA有床診療所部会役員・各県代表者及び有床診WG合同会議の開催（松原）平成28年12月3日（土）開催予定
6. JCOA病院部会及び有床診療所部会への「50人以上職員のいる事業所」に対する「ストレスチェックテスト」に関するアンケート協力依頼（設楽）
7. JCOA会員数増加、整医協加入率増加のための各県代表者へのアンケート実施（廣瀬）
8. 平成28年度第4回医療システム委員会の特別出席者の旅費支給のお願い（小野）
9. 日臨整誌掲載投稿規定の執筆要項及び資料集の修正（木島）
10. COI指針及び規則の改正案（長谷川）
文言の修正→総会の承認後に修正する。
11. JCOA利益相反Q&A集の改正案（長谷川）→文言の修正
12. 学術助成募集要項及び助成金交付要綱の改正（長谷川）
研究期間延長に対する対応、出納帳の改正、研究費の返還に関する条文を追加
13. 第33回JCOA学術集会（平成32年）の開催について（三宅・二階堂）
長野県が受ける方向で検討、開催地は名古屋も考慮する

【報告事項】

1. 平成28年度各種会議等実施状況（新井）
2. 第29回学術集会（北海道）報告（八木）
第29回学術集会（北海道）参加者数1,248 懇親会参加者494 応募演題数297 懇親会会計収入6,199,000 支出8,452,365 ▲2,253,365
3. 平成26年度学術研究の研究報告書及び会計報告書（長谷川・木内）
4. 平成28年度JCOAシンポジウムの開催（平成28年11月20日）（小野）
テーマ：「柔道整復療養費、問題点の整理」
5. インターネットサーバ及びネットワークデータ保守・運用管理契約の締結（西山）

原案どおり承認

6. 平成 28 年度 JCOA 保険審査員会議及び全国整形外科保険審査委員会報告（佐藤）
9 月 10・11 日の報告
7. 平成 28 年度第 1 回リウマチ診療制度検討会報告（三宅）
 - (1) 外保連、内保連への要望事項の統一
 - (2) 高点数医療機関に対する行政指導（特に個別指導）
高額薬剤を使用するだけで指導になる状況を改善してほしい
 - (3) 診療費の自己負担限度額の低減化
8. 日本医師会 学校保健委員会委員の推薦（田辺）
9. 日本医師会 社会保険診療報酬等検討委員会委員の推薦（田辺）
10. 各種委員会委員長の決定状況（田辺）
11. Moving vol.20（運動器の 10 年・日本協会）について（新井）
12. ロコモ無料勉強会に関する謝罪文書について（田辺）
中外製薬より謝罪文

【理事会の決議等の省略（持ち回り理事会）】

全国 47 都道府県ロコモ啓発記事体広告掲載企画の後援について

目的：ロコモティブシンドローム認知度の向上に協力する（久光製薬）

【各種委員会報告】

資料 各種委員会の組織・人員

【整医協報告事項】

★整医協の活動報告

★整医協の活動を知らせ、加入を促すことをいろいろな機会にアピールすることになった。

OCOA 入会時に自動振り込みを薦めることとなった。

3、第 68 回近畿ブロック会議

長谷川副会長

平成 28 年 11 月 19 日（土曜日） 会場：ハービス PLAZA 5F 貸会議室

当番世話人：奈良県臨床整形外科医会 会長 田中幸博

懇親会 ザ・リッツカールトンホテル 18:15~

会議出席者（54 名）

（大阪：17 名）（兵庫：9 名）（京都：6 名）（和歌山：7 名）（滋賀：5 名）（奈良：10 名）

議事進行担当（奈良：藤井載樹）

【1】 当番世話人挨拶 奈良県整形外科医会

【2】 まほろば関西学会 担当コンベンション会社を代表して、コングレ九州の

永嶋氏の挨拶

【3】 報告事項

1. 共催研修会に関する報告書を日本製薬工業協会に送付する件について
利益相反等、共催研修会の透明性を図る上で重要。
2. 日本医学会加盟申請書の提出について
3. 平成32年度の学術集会は中部、研修会は九州に決定

平成28年度 第3回 JCOA 学術研修委員会

平成28年9月25日（日）JCOA 事務局

1. 第30回 JCOA 学術集会（東京） 平成29年7月16. 17日

場所： 京王プラザホテル新宿

2. 論文査読について
3. 機構認定専門医について

日整会は機構専門医への移行を希望している。

- (6) 医業経営委員会（追加）（京都：高橋 真）

近畿ブロックからの要望

①創外固定器加算を独立した手術項目へ ②運動器機能検査料の新設 ③ロコモティブシンドローム評価料の新設 ④消炎鎮痛を組み替え、運動器物理療法を新設し、整形外科に特化したものとする ⑤湿布の取り扱い（内科との差別化）⑥絆創膏固定術を小関節にも適応する 等。

- (7) 平成28年度 第2回スポーツ・学校保健委員会（滋賀：麻生伸一）

平成28年11月13日（日）JCOA 事務局

1. 初年度の運動器検診は概ね順調に行われた。整形外科専門医受診を勧告された生徒の受診率は、50～60%というところが多かった。
2. JCOA学会（東京）におけるスポーツ医懇談会について

①「スポーツ現場に出て行こう（仮題）」というテーマで、スポーツ医の資格を持ちながら、現場に出て行く機会がない会員に役立つ情報を提供する場としたい。

- (8) 平成28年度 第1回学校保健運動器検診WG委員会（兵庫：山下仁司）

平成28年9月25日（日）11：00～15：00 ステーションコンファレンス東京

1. 受診勧告児童・生徒等の実態調査報告書（中間報告）開示は12月末予定

- (9) 平成28年度 第2回 JCOA 自賠労災委員会

1. ハンドブック販売状況

前の版を上回る4634部の販売

2. 事例検討

一括打ち切り後で治療費支払い拒否の場合でも応召義務は認められており診療拒否できない。

2 通目の後遺障害診断書作成依頼があった場合は事故診療をしていないので記載できず、現状の診断書としてしか発行できない。

今回の近畿ブロック会議 平成 29 年 4 月 8 日（土）担当：大阪

【4】 審議事項

(1) 整医協加入状況について（大阪：長谷川利雄）

(2) 理事の任期について

4、関西まほろば学会コンベンション会社選定について 長谷川副会長

第 32 回日本臨床整形外科学会学術集会 まほろば関西 概要

1. 開催機関：平成 31 年 7 月 15 日（日）・16 日（海の日）
 コングレ「チーム JCOA 関西」が担当することとなった。
2. 開催場所（仮予約済）
3. テーマ：Never stop learning -原点回帰、臨床医は一例に学ぶ-
4. 学術集会役員
 会長：田中 幸博（奈良）
 実行委員長：長谷川利雄（大阪）
 学術委員長：山下 仁司（兵庫）
5. 開催規模：演題数 300+ α . 参加人員 1,100 名+ α . 会場数 8~9
6. 随伴研修会 産業医資格継続研修会・スポーツ医懇談会・エコーハンズオンセミナー
 日整会等教育研修講演
7. 随伴行事 懇親会・企業器械展示・書籍販売・エコー器械展示
8. 宿泊・エクスカーションについて：外注する。
9. 遵守事項：一般社団法人日本臨床整形外科学会開催要項¹⁾を遵守する。
10. 会計基準：一般社団法人日本臨床整形外科学会が指定した会計基準²⁾を用いる。
11. 利益相反指針・規則：適用学会である。
12. 演題登録システム UMI IN 使用のこと

5、大阪府医療事故調査支援委員会 小林副会長

大阪府医師会から事故調支援センターへの報告事例：合計 13 件うち診療所 1 件

医療事故調査・支援センター（全国）2015 年 10 月～2016 年 10 月

医療事故報告件数 423 件 病院 395 件 診療所 28 件

近畿 63 件 関東信越 171 件 九州 62 件 東海北陸 56 件
中国四国 29 県 北海道 21 件 東北 21 件
整形外科 35 件/423 件
外科 77 件 内科 58 件 消化器科 38 件 循環器内科 27 件 産婦人科 25 件
センター調査の依頼 遺族から 13 件 医療機関から 3 件

6、第 3 回学術研修委員会

堀口理事

日時：平成 28 年 9 月 25 日（日） 場所：日本臨床整形外科学会事務局 2F「会議室」

報告事項：

1. 理事会報告

(1) 日本整形外科学会理事会報告（JCOA 学術研修委員会関連事項）

- ④ 新専門医制度への移行措置として、平成 24 年 4 月 1 日以後に開催された分野 14 の講習会の見直しが行われ、分野 14 の 600 講演余りが 14-1、14-2、14-3、14-4、14-5 として認定された。

(2) 日本臨床整形外科学会理事会報告（学術研修委員会関連事項）

- ① 日韓臨床整形外科合同研究会等の国際学会等に係わる規則を定款等、国際交流、学術研修等の委員会にて作成、制定する。
- ② 共催研修会に関する報告書を日本製薬工業協会に送付、日整会理事会に提出した。
- ③ 平成 32 年度：第 33 回学術集会は中部、第 47 回研修会は九州と決定した。
- ④ 学術集会の抄録の公開については、これまでどおり学術集会参加者と会員にのみ公開することとした。

2. 第 29 回 JCOA 学術集会（北海道）報告

- (7) 一般演題発表者の 36.4%が会員による発表であり、共同演者が会員の割合は 44.5%だった。開催要項第 5 条 1 に該当は 80.9%であり、内容的にも充実していた。

3. 第 30 回 JCOA 学術集会（東京）準備状況報告

4. 論文査読について

- (3) 日本臨床整形外科学会雑誌が J-Stage（総合電子ジャーナルプラットフォーム）にて公開されるようになった。今後は PubMed 掲載を目指している。
- (4) 一方、年々投稿数が減少している。学術集会シンポジウムなどを特集として投稿を依頼することも検討していくこととなった。

5. 学術研究助成 研究報告・会計報告

6. 学会功労賞、学術賞の募集について

協議事項：

1. 新専門医の2017更新マニュアル(案)について
2. 第91回日整会(JOA)学術総会(新潟大学:in神戸)でのJCOAによるシンポジウム・パネルと教育研修講演演題案について

<新専門医制度における2017年4月の更新について>

- ・更新の基本要件:①勤務実態の自己申告、②診療実績の証明、③更新単位
- ・「学会認定専門医」:日整会から認定を受けた専門医(2015年以前の取得者を更新の対象)
- ・「機構認定専門医」:専門医機構から認定を受けた専門医(2020年度から更新基準の運用する)
- ・2016~2019年度は移行措置期間(「学会認定専門医」か「機構認定専門医」か選択可能)とする

<2017年4月に「機構認定専門医」への更新要件を満たさない場合>

「学会認定専門医」を更新する→5年後に「機構認定専門医」で更新する必要がある。

7、 第1回医業経営委員会

10/15・東京 矢倉理事

日時:平成28年10月15日(土) 場所:日本臨床整形外科学会事務局2F「会議室」
出席者:22名

議題:平成30年度診療報酬・介護診療報酬の同時改定におけるJCOA要望事項の整理
平成30年度診療報酬改定要望(3学会等) 2016年11月時点

JCOA 医業経営委員会担当副理事長 三宅信昌

【日本臨床整形外科学会】外保連

<新設> 5項目 <改定> 8項目 <材料> 3項目

【日本運動器科学会】外保連

<新設> 5項目 <改定> 8項目 <材料> 3項目

【内保連への要望】(JCOAから)

2項目

【日本医師会への要望・重点項目】

3項目

8、テニス部報告

1

岸本理事

開催日時 平成28年10月16日(日)9時~12時

参加人数 10名

会計報告がされ承認された

9、第5回医療システム委員会

岸本理事

日時:平成28年11月20日(日) 場所:品川プリンスホテルメインタワー3F「すみれ」

出席者:14名

【協議・検討事項】

- 1 平成28年度JCOAシンポジウム 「柔道整復療養費、問題点の整理」
- 2 H29年JCOAシンポのテーマについて
- 5 自賠責診療の中の柔整問題
- 6 第8回あはき療養費検討専門委員会
- 7 第9回社会保障審議会医療保険部会
- 8 第5回柔道整復師養成施設カリキュラム等改善検討会
- 9 医業類似行為に係る健康被害 瀧田から報告
- 10JOA 広報・渉外委員会委員の選出

10、JCOA シンポジウム

岸本理事

日時：平成28年11月20日（日） 場所：品川プリンスホテルホテルメインタワー12F

基調講演 1. 柔整師教育とカリキュラム改革について

基調講演 2. 適正な柔道整復療養費のあり方

11、大阪マラソン

荻野理事

大会運営結果（2016.11.4修正）、会計報告について報告され承認された。

次回 第7回大阪マラソン 2017年11月26日

12、骨と関節の日メインイベント

上野理事

日時：平成28年10月8日（土） 会場：大阪狭山市文化会館 sayaka ホール 小ホール

テーマ：「ロコモ度テストでロコモを測ろう」

講演 1：「あなたは大丈夫？いつまでも達者で歩けるロコモ対策」

講演 2：「みんなでロコモ対策 ロコトレをしよう」

参加者数 285名

13、OAOA秋季ゴルフコンペ

上野理事

日時 平成28年11月3日（木・祝） 場所 天野山カントリークラブ

参加者 15名 優勝は 田中直史先生

会計報告がされ承認された。

次回 春季ゴルフコンペは、5月28日（日） 場所は未定で、開催予定。

14、運動器リハ・セラピスト資格継続研修会

上野理事

日時：平成28年11月13日（日）

場所：エーザイ（株）大阪コミュニケーションオフィス

梅田スカイタワー・イースト 33階 A会議室（〒531-6001 大阪市北区大淀中1-1-88）

参加者：事前登録者195名

当日参加者 194名（内セラピスト資格者191名、非資格者3名）

会計報告→承認された

次回29年度は、29年11月12日（日）に開催。

15、第3回編集委員会

永田理事

日時：平成28年9月24日（土）場所：日本臨床整形外科学会事務局2F「会議室」

出席者：出席者 計11名 委員長 山越 弘明

特別参加者 山添 好宏（第43回研修会実行委員会）

ニュース・会報の反省と予定

ニュース、会報などに掲載する謹告について、地区名を記入することになった。

16、第3回雑誌編集WG委員会

永田理事

平成28年度第3回雑誌編集WG議事録 日時：平成28年9月24日（土）

場所：事務局

出席者 計11名 委員長 赤松 俊浩

特別参加者 山添 好宏（第43回研修会実行委員会）

議事：雑誌編集の経過報告

J-STAGEに搭載状況に誤りがないか、確認する。

16、第4回編集委員会、雑誌編集WG委員会

永田理事

日時：平成28年12月2日（金）20：00～22：00 場所：テレビ会議

17、日整会運動器リハ委員会

永田理事

学術用語委員会より第9版の作成にあたって、関係領域の用語の新規採用、削除や変更、誤植などの意見募集があった。なお用語集第8版は日整会ホームページで閲覧が可能。

19、第2回 運動器リハビリテーション・介護保険検討委員会 貴島理事

日時：平成28年11月3日（木、祝）場所：日本臨床整形外科学会事務局2F「会議室」

1. 理事会審議付帯事項

理事長諮問事項についての検討を行った。

1) 介護予防事業の地方への移譲に関する対策と会員への広報

★地方移譲により、介護予防費の減額が見込まれる。

20、広報委員会

宮田理事

11月26日（土） 参加者：11名

第43号 大阪臨床整形外科医会会報について検討を行った。

21、大阪臨床整形外科医会会員に対して行った災害時対応に

関するアンケート結果

神藤理事

医師87名、スタッフ518名の合計605名からの回答が得られた。（別資料）診療所では、災害時に備え何らかの防災対策を行っていますか？ はい 37%、いいえ 67%

22、アベノ健康展でのロコモ度テストと健康状態アンケート結果

神藤理事

今回の分析で、ロコモ1からロコモ2への悪化を阻止するためには、運動習慣などの積極的なロコモ対策が重要であった。ロコモ2群では、整形外科疾患の有病率がほぼ100%であり、膝痛や腰痛に対する疾患加療も重要で、ロコモ対策において我々整形外科医が果たす役割は大きい。（別資料）

23、平成28年度病院部会全体会議及びJCOA研修会

古瀬理事

○平成28年度病院部会役員会

日時：平成29年2月4日（土） 場所：品川プリンスホテル メインタワー 38階

○平成28年度病院部会全体会議及びJCOA研修会

日時：平成28年2月5日（日） 場所：品川プリンスホテル メインタワー 17階

24、第2回40周年記念祝賀会準備委員会

白木副会長

日時：平成28年6月25日（土） 於：リーガロイヤルホテル

平成29年10月21日（土） 於 リッツカールトン大阪

講演会講師 山極 壽一 先生（仮押さえ）

予算：40周年記念誌 と合わせて900万円以内

規模：300人の出席者が理想

会費：会員 2万円 同伴者 1万円

25、第2回IT戦略委員会

白木副会長

日 時:平成28年10月23日(日) 場 所:ステーションコンファレンス東京4階「402B」

- 議題1 : H. 28・28年度理事長諮問事項に対する検討
議題2 : 会員の部屋の問題点と課題についての検討
議題3 : JCOA ホームページ便りの分担執筆について検討
議題4 : IT委員会年次計画について検討

26、研修会実施報告

増田副会長

ロコモ対策 「運動器疾患／骨・関節フォーラム」大阪会場 (9月17日)

252名 会員110名 非会員142名

第289回研修会(9月24日) 248名 会員162名 非会員86名

第290回研修会(10月29日) 257名 会員145名 非会員112名

第291回研修会(11月26日) 154名 会員108名 非会員46名

★参加人数が伸び悩んでおり、協賛メーカーである久光製薬へ増員できるように要請することとなった。

27、各委員会年度末報告の制度化について

前中会長

今年度から各委員会は年度内の活動報告書を作成すること

- 1、年度末第4回OCCOA理事会に報告する。
- 2、事業計画に照らして、簡潔に報告する。
- 3、委員長、担当理事が作成し、まとめて理事会へ報告する。
- 4、活動報告書は総会資料に組み込む。

28、その他

前中会長

★理事会の終了にあたり、松矢浩司幹事から、理事への慰労と謝辞が述べられ、今回の理事会の成立が承認された。